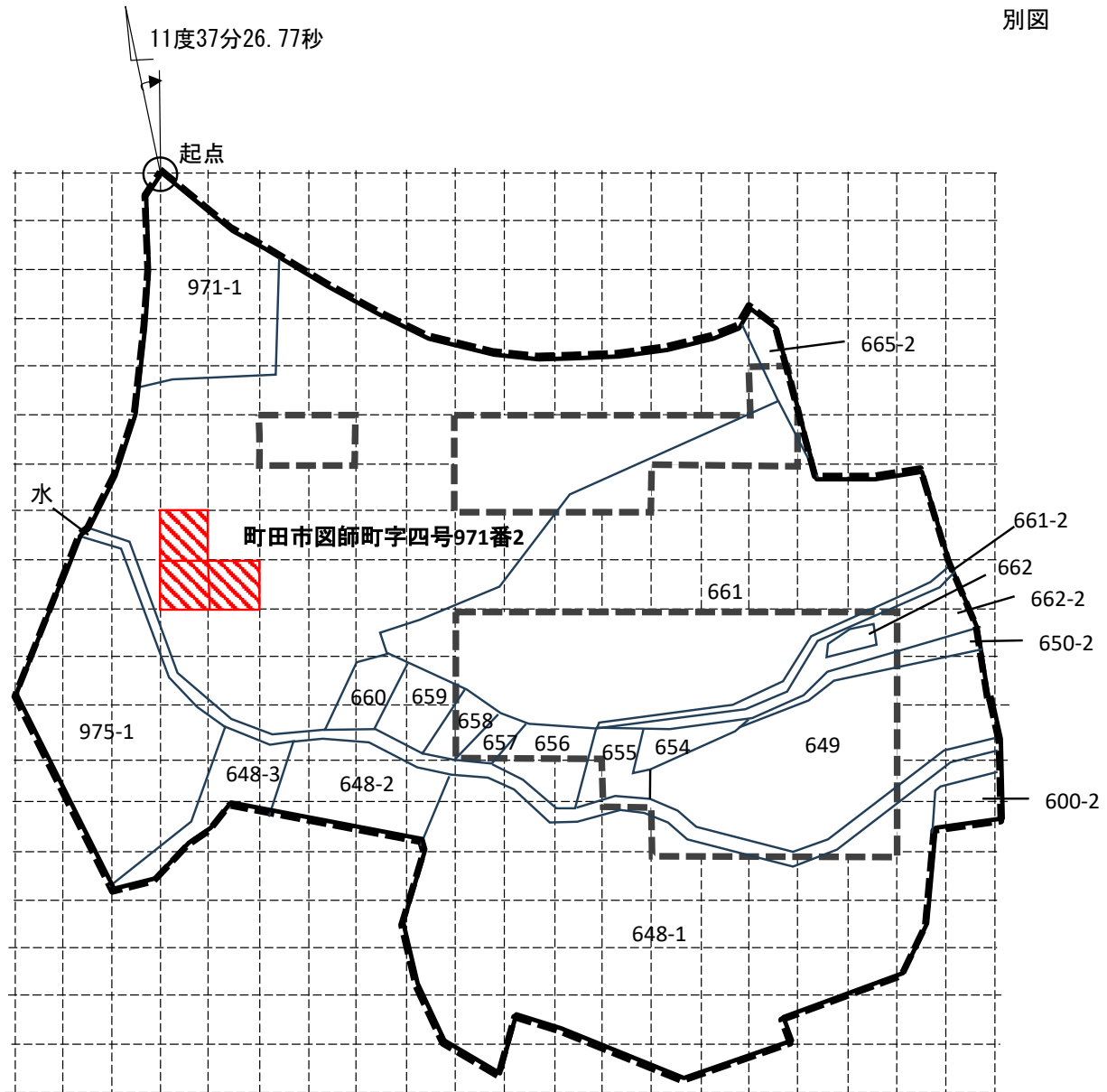


整理番号	整-38-1	指定年月日・指定番号	2026年5月8日・形-5	所在地	町田市図師町字四号971番2の一部	
調製・訂正年月日	2026年5月8日調製(新規指定)					
形質変更時要届出区域の概況	事業場敷地				面積	300.00 m ²
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨						
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかつた土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかつた深さの位置及び特定有害物質の種類						
土壤汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由						
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置						
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあつては、その旨						
形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類	適合しない基準項目		指定調査機関の名称	
	2026年4月1日	ふっ素及びその化合物	含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		アサヒ地水探査株式会社	
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壤搬出	汚染土壤の処理方法
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態」については、土壤その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。



- 【凡例】**
- 調査対象地
 - 筆境界
 - - - 単位区画
 - ▨ 形質変更時要届出区域
 - ┌┐ 次回以降調査地(白抜き)

【起点の位置】
起点は、町田市図師町字四号971番2の最北端とする。

【格子の回転角度】
11度37分26.77秒
格子の回転角度は、起点を通り、東西方向及び南北方向に引いた線並びにこれらと平行して10 m間隔で引いた線により構成されている格子を、起点を中心として右回りに回転させた角度を示す。

土壌汚染状況調査結果報告シート

1. 調査概要			
土壌汚染状況調査の対象地	住居表示	町田市	図師町971-2
	地番	町田市	図師町600-2、648-1、648-2、648-3、649、650-2、654、655、656、657、658、659、660、661、661-2、662、662-2、665-2、971-1、971-2、975-1、水（一部又は全部）
	今回報告範囲 ※全体の対象地に対し、分割して報告する場合		
	住居表示	町田市	図師町971-2
	地番	町田市	図師町600-2、648-1、648-2、648-3、649、650-2、655、656、657、658、659、660、661、661-2、662-2、665-2、971-1、971-2、975-1、水（一部又は全部）
工業専用地域の有無		無	対象地の用途地域が工業専用地域である場合（対象地の一部も含む）は「有」を選択してください。
条例施行規則第55条第3項地域の有無		無	第55条第3項地域については、環境局ホームページの「埋立地の特例の対象地域参考図」をご参照ください。
深度限定の有無		無	
調査省略の有無		無	
省略する調査（複数選択可）			省略する範囲
		全て	
		地歴調査（汚染のおそれのある物質の絞り込み）	
		汚染のおそれの分類	
		土壌ガス調査（第一種）	
		表層土壌調査（第二種・第三種）	
		土壌ボーリング調査（第一種）	
		一部対象区画における個別調査（第二種・第三種）	
		代表地点地下水調査（条例）	
		対象地境界地下水調査（条例）	
省略の詳細 （省略する区画名及び調査の内容）			
省略の理由			
指定調査機関名		アサヒ地水探査株式会社	
指定調査機関の指定番号		2003-3-3004	
準拠法令等		●	土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）
		●	同法施行令（平成14年政令第336号）、同法施行規則（平成14年環境省令第29号）
		●	土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（最新版 環境省水・大気環境局土壌環境課）
		●	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号）
		●	東京都土壌汚染対策指針（平成31年4月1日施行）

2. 地歴調査結果概要（調査対象地の土壌汚染のおそれの把握）	
有害物質取扱事業場の設置履歴	有 ①RCA基礎研究所 株式会社が洗浄施設を設置していた。 ②コーニングジャパンインコーポレーテッドの設置履歴は不明。
特定有害物質の使用状況とその形態	①総量不明、化学反応で使用 ②不明
地表の高さの変更(盛土、埋土等)の経緯	有 △別紙「汚染のおそれの区分図」のとおり
既往調査・対策の経緯	無
その他の経緯	無
汚染のおそれとその由来	● 人為由来による汚染のおそれがある (おそれを否定できない) 自然由来による汚染のおそれがある 水面埋立て用材料による汚染のおそれがある
試料採取等対象物質の種類とその理由	トリクロロエチレン ①特定施設使用届出書P. 2に記載
	カドミウム及びその化合物 ①特定施設使用届出書P. 5に記載
	シアン化合物 ①特定施設使用届出書P. 5に記載
	水銀及びその化合物 ①特定施設使用届出書P. 2に記載
	鉛及びその化合物 ①特定施設使用届出書P. 5に記載
	砒素及びその化合物 ①特定施設使用届出書P. 2に記載
	第一種特定有害物質 ②業務内容が不明なため
	第二種特定有害物質 ②業務内容が不明なため
	ポリ塩化ビフェニル(PCB) ②業務内容が不明なため
	使用の可能性が否定できないものの試料採取等の対象としない特定有害物質とその理由
調査対象地 (試料採取等を行った土地の地番)	町田市図師町600-2、648-1、648-2、648-3、649、650-2、655、656、657、658、659、660、661、661-2、662-2、665-2、971-1、971-2、975-1、水
調査対象地面積	17,763.70 m ²
土壌汚染のおそれの区分の分類(平面)	土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地 ①RCA基礎研究所 株式会社及び②コーニングジャパンインコーポレーテッドの建物立地場所、汚水処理設置場所、排水経路
	土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地 ①RCA基礎研究所 株式会社及び②コーニングジャパンインコーポレーテッドの事業敷地範囲 ①RCA基礎研究所 株式会社及び②コーニングジャパンインコーポレーテッドの事業敷地範囲の土壌が、町田福祉園建設時に盛土された範囲
	土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地 ①RCA基礎研究所 株式会社及び②コーニングジャパンインコーポレーテッドの事業敷地範囲外の土地、かつ町田福祉園建設時に盛土されていない範囲
汚染のおそれが生じた場所の位置(断面)	現地表面の汚染のおそれの有無とその理由 有 ①RCA基礎研究所 株式会社及び②コーニングジャパンインコーポレーテッドの事業敷地範囲の土壌が、町田福祉園建設時に切土及び盛土され汚染のおそれの生じた位置が不明となったため。
	現在の地表より深い位置の汚染のおそれの有無とその理由及び深度 無
	理由 ①RCA基礎研究所 株式会社及び②コーニングジャパンインコーポレーテッドの地下施設の有無は不明であるため、汚染のおそれの生じた位置は不明である。
深度	不明

3. 調査方法		
3-1. 単位区画の設定		別紙「単位区画の設定」のとおり
3-2. 土壌調査方法		
現地試料採取期間	ガス採取	令和7年3月4日～6日
	土壌採取	令和7年3月4日～6日、7月25日
室内分析期間		令和7年3月5日～18日、7月28日～8月5日
試料採取等対象物質と試料採取を行う区画の選定	全部対象区画	第1種特定有害物質、第2種特定有害物質、ポリ塩化ビフェニル
	一部対象区画	第1種特定有害物質、第2種特定有害物質、ポリ塩化ビフェニル
第一種特定有害物質の土壌ガス採取方法	全部対象区画	単位区画毎に、土壌汚染のおそれが多いと認められる部分で現地表から0.8～1.0mの深度の地中において土壌ガスを採取した（持ち帰り分析）
	一部対象区画	30m格子の中心を含む単位区画の1地点で、現地表から0.8～1.0mの深度の地中において土壌ガスを採取した（持ち帰り分析）
	一部対象区画において土壌ガスが検出された30m格子	全地点不検出
	トラベルブランク試験の有無	有
	値の補正の有無	無
		濃度の増減は± 20%未満
第一種特定有害物質のボーリングによる試料採取方法		
	帯水層底面が確認された深度	m
第二種、第三種特定有害物質の試料採取方法	全部対象区画	単位区画毎に、表層(0～0.05m)及び0.05～0.5mまでの深さの土壌を採取し、均等混合した。
	一部対象区画	各30m格子内の一部対象区画1～5地点で、表層(0～0.05m)及び0.05～0.5mまでの深さの土壌を採取し、複数地点混合試料として均等混合した。基準値超過が確認された場合は、当該30m格子の全ての単位区画の表層(0～0.05m)及び0.05～0.5mまでの深さの土壌を採取した。
3-3. 地下水調査方法		
現地試料採取期間	代表地点	
	対象地境界	
室内分析期間	代表地点	
	対象地境界	
代表地点	地下水採取等対象物質と地下水採取を行う位置の選定（平面）	
	地下水採取等対象物質と地下水採取を行う深さの選定（断面）	
	帯水層底面が確認された深度	m
対象地境界	地下水採取等対象物質と地下水採取を行う位置の選定（平面）	
	地下水採取等対象物質と地下水採取を行う深さの選定（断面）	
	帯水層底面が確認された深度	m
地下水試料採取方法		

単位区画の設定

※汚染状況調査方法（法、条例）の単位区画の設定について記入してください。
 ※記載行が足りない場合は25番目の行をコピーして行を追加してください。

連番	起点の位置			起点の高さ		起点の高さを計測した場所（面）	北の定義	回転角度			その他
	X座標	Y座標	その他	高さ（m）	その他（m）			度	分	秒	
1			地番の最北端		未計測	境界杭等の頭	真北	11	37	26.77	K66民コンクリート杭
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

この行より上に行を追加してください。

4. 調査結果概要

分類	調査対象物質	土壌ガス				土壌ガス(地下水)					
		基準 (ppm) *	調査 対象 区画数	最大 濃度 (ppm)	ガス 検出 区画数	試料 採取等 の省略	基準 (mg/l)	調査 対象 区画数	測定 結果 (mg/l)	基準 超過 区画数	試料 採取等 の省略
(第一種特定有害物質) (揮発性有機化合物)	トリクロロエチレン	0.1	109	<0.1	0	無	0.01				
	テトラクロロエチレン	0.1	109	<0.1	0	無	0.01				
	ジクロロメタン	0.1	109	<0.1	0	無	0.02				
	クロロエチレン	0.1	109	<0.1	0	無	0.002				
	四塩化炭素	0.1	109	<0.1	0	無	0.002				
	1, 2-ジクロロエタン	0.1	109	<0.1	0	無	0.004				
	1, 1-ジクロロエチレン	0.1	109	<0.1	0	無	0.1				
	1, 2-ジクロロエチレン	0.1	109	<0.1	0	無	0.04				
	1, 1, 1-トリクロロエタン	0.1	109	<0.1	0	無	1				
	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.1	109	<0.1	0	無	0.006				
	1, 3-ジクロロプロペン	0.1	109	<0.1	0	無	0.002				
	ベンゼン	0.05	109	<0.05	0	無	0.01				

分類	調査対象物質	基準 (mg/l) *	溶出量調査				代表地点における地下水調査				対象地境界における地下水調査					
			調査 対象 区画数	最深 調査 深度 (m) 注1	最大 濃度 (mg/l)	最大 汚染 深度 (m) 注1	基準 超過 区画数 注3	試料 採取等 の省略	試料 採取 区画数	最大 濃度 (mg/l)	基準 超過 区画数	試料 採取等 の省略	試料 採取 地点数	最大 濃度 (mg/l)	基準 超過 地点数	試料 採取等 の省略
(第一種特定有害物質) (揮発性有機化合物)	トリクロロエチレン	0.01														
	テトラクロロエチレン	0.01														
	ジクロロメタン	0.02														
	クロロエチレン	0.002														
	四塩化炭素	0.002														
	1, 2-ジクロロエタン	0.004														
	1, 1-ジクロロエチレン	0.1														
	1, 2-ジクロロエチレン	0.04														
	1, 1, 1-トリクロロエタン	1														
	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006														
	1, 3-ジクロロプロペン	0.002														
	ベンゼン	0.01														
(第二種特定有害物質) (重金属等)	カドミウム及びその化合物	0.003	95		<0.001		0	無								
	シアン化合物	0.1	95		<0.1		0	無								
	鉛及びその化合物	0.01	95		0.002		0	無								
	六価クロム化合物	0.05	95		0.03		0	無								
	砒素及びその化合物	0.01	95		0.001		0	無								
	水銀及びその化合物	0.0005	95		<0.0005		0	無								
	セレン及びその化合物	0.01	95		0.001		0	無								
	ほう素及びその化合物	1	95		0.04		0	無								
	ふっ素及びその化合物	0.8	95		2.5		3	無								
(第三種特定有害物質) (農薬等)	有機燐化合物	0.1														
	ポリ塩化ビフェニル	0.0005	95		<0.0005		0	無								
	チウラム	0.006														
	シマジン	0.003														
チオベンカルブ	0.02															

*基準欄の斜字：の基準は、「不検出」を示す。

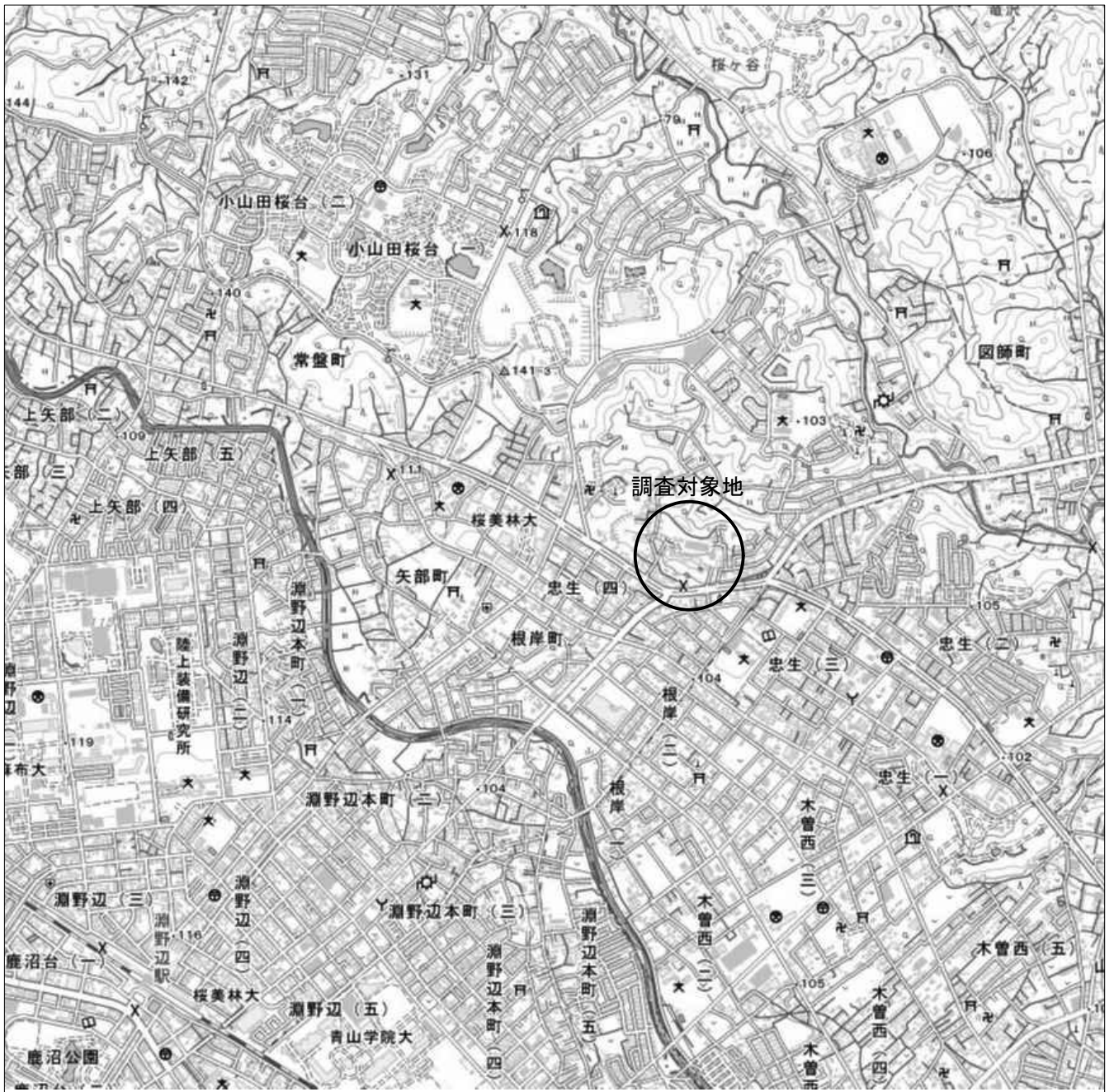
分類	調査対象物質	含有量調査						
		基準 (mg/kg)	調査 対象 区画数	最深 調査 深度 (m)	最大 濃度 (mg/kg)	最大 汚染 深度 (m)	基準 超過 区画数	試料 採取等 の省略
(第二種特定有害物質) (重金属等)	カドミウム及びその化合物	45	95		<5		0	無
	シアン化合物	50	95		<1		0	無
	鉛及びその化合物	150	95		11		0	無
	六価クロム化合物	250	95		<5		0	無
	砒素及びその化合物	150	95		<5		0	無
	水銀及びその化合物	15	95		0.08		0	無
	セレン及びその化合物	150	95		<5		0	無
	ほう素及びその化合物	4000	95		<10		0	無
ふっ素及びその化合物	4000	95		320		0	無	
基準不適合範囲の地番		町田市区師町971-2						
基準不適合範囲の面積 注)2 (m ²)		300.00						
備考		調査対象区画数 95 区画 濃度範囲の数値の着色は基準不適合又は第二溶出量基準不適合であることを示す。						

- 区画数は、調査対象地内の単位区画(10mメッシュ)の合計数を記載ください。
 - ①30mメッシュの調査(一部調査対象区画の調査)を行った範囲については調査対象区画数、自然由来特例調査を行った範囲についてはその間の対象区画数として計算してください。
 - ②第一種特定有害物質の溶出量調査で代表地点でボーリングを行った場合は、ガス検出範囲を含めた区画数で計算してください。
 - ③統合された区画は1区画と数えてください。
 - ④土壌汚染の存在するおそれがないと認められる範囲の区画数は含めないでください。
 - ⑤全体の調査範囲に対し、分割して報告書を作成している場合、原則、当報告書で報告する範囲の区画数でまとめてください。

注) 1 第二種特定有害物質及び第三種特定有害物質の詳細調査の結果を報告する場合は、詳細調査(深度方向調査)結果報告シートを作成してください。なお、詳細調査結果は、法に基づく調査の場合は第7条第1項又は第12条第1項、条例に基づく調査の場合は第117条第3項の届出で報告してもかまいません。

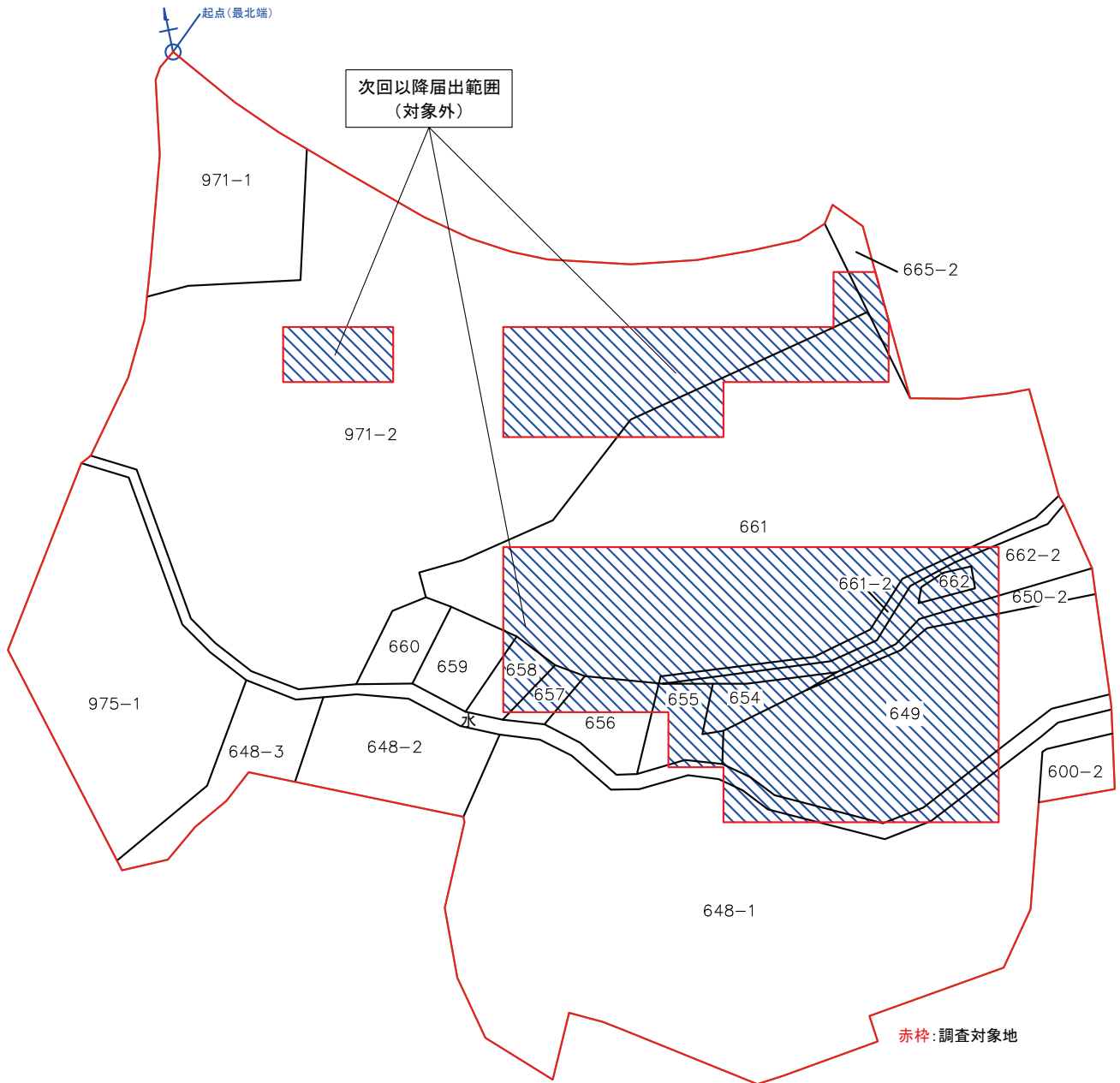
注) 2 土壌ガス等を検出しボーリング調査を実施した場合には、ボーリング調査結果も踏まえて基準不適合範囲の面積を記入してください。

注) 3 第一種ボーリング調査結果については、代表地点以外の調査結果も含めて基準超過と評価される区画数を記載してください。



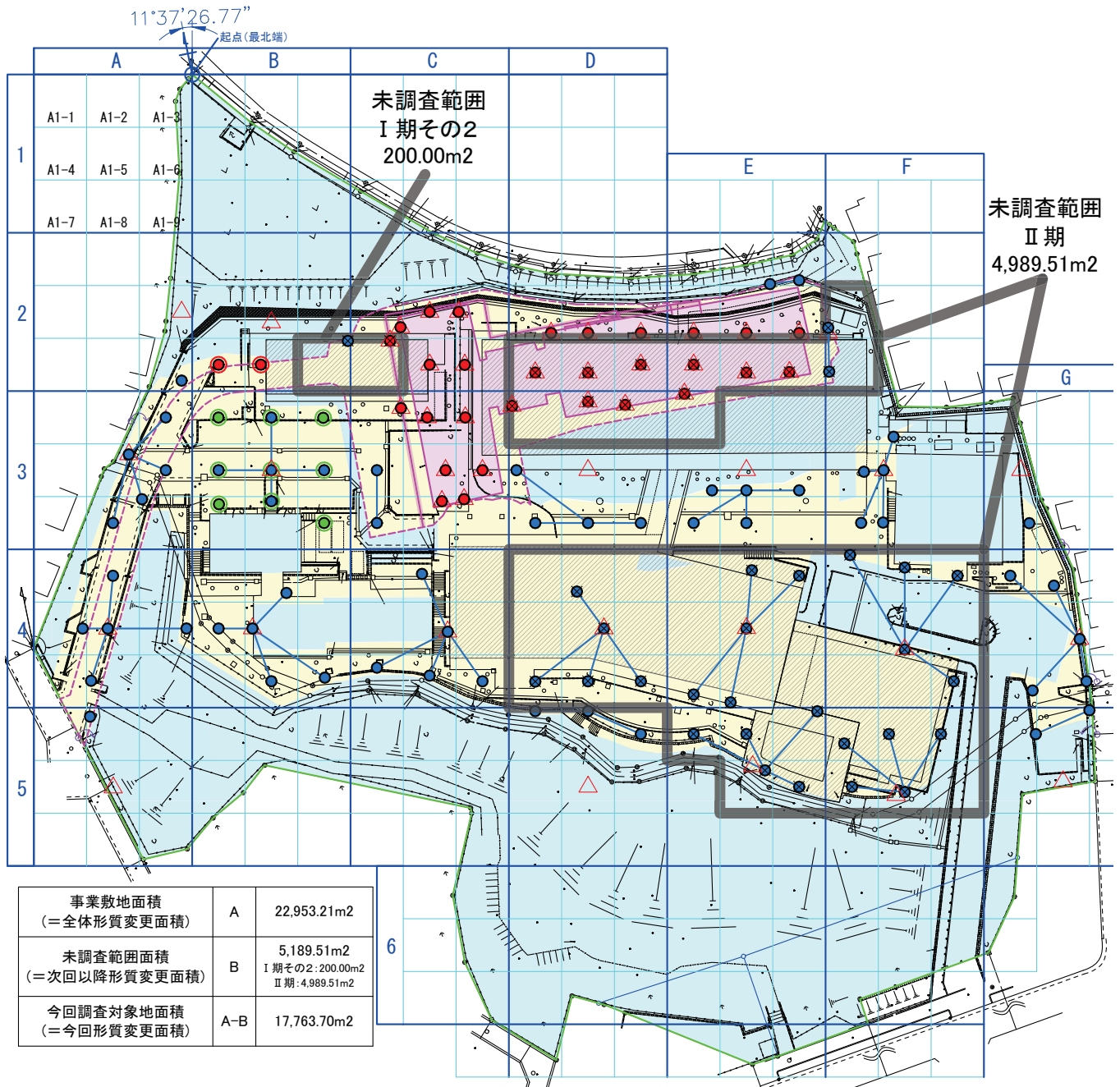
引用:地理院地図

調査対象地の周辺の地図(A4:1/20000)



公図の分類は「地図に準ずる図面」であり、土地の位置及び形状の概略を記載した図面であるため、正確な土地形状ではありません。

公図まとめ図 (町田市図師町)



凡例

- : 調査対象範囲
- : 有害物質使用場所(旧)
- : 事業敷地範囲(旧)
- : 地下ピット部分
- : 今回調査対象外範囲

土壤汚染のおそれの区分凡例

- : 汚染のおそれが比較的多い土地
- : 汚染のおそれが少ない土地 (旧事業敷地範囲, 盛土範囲※)
- ※: 造成時に旧事業敷地の掘削土で盛土された範囲
- : 汚染のおそれが無い土地 (緑地又は切土範囲)

区画凡例

- : 30m格子線
- : 10m格子線
- : 区画統合

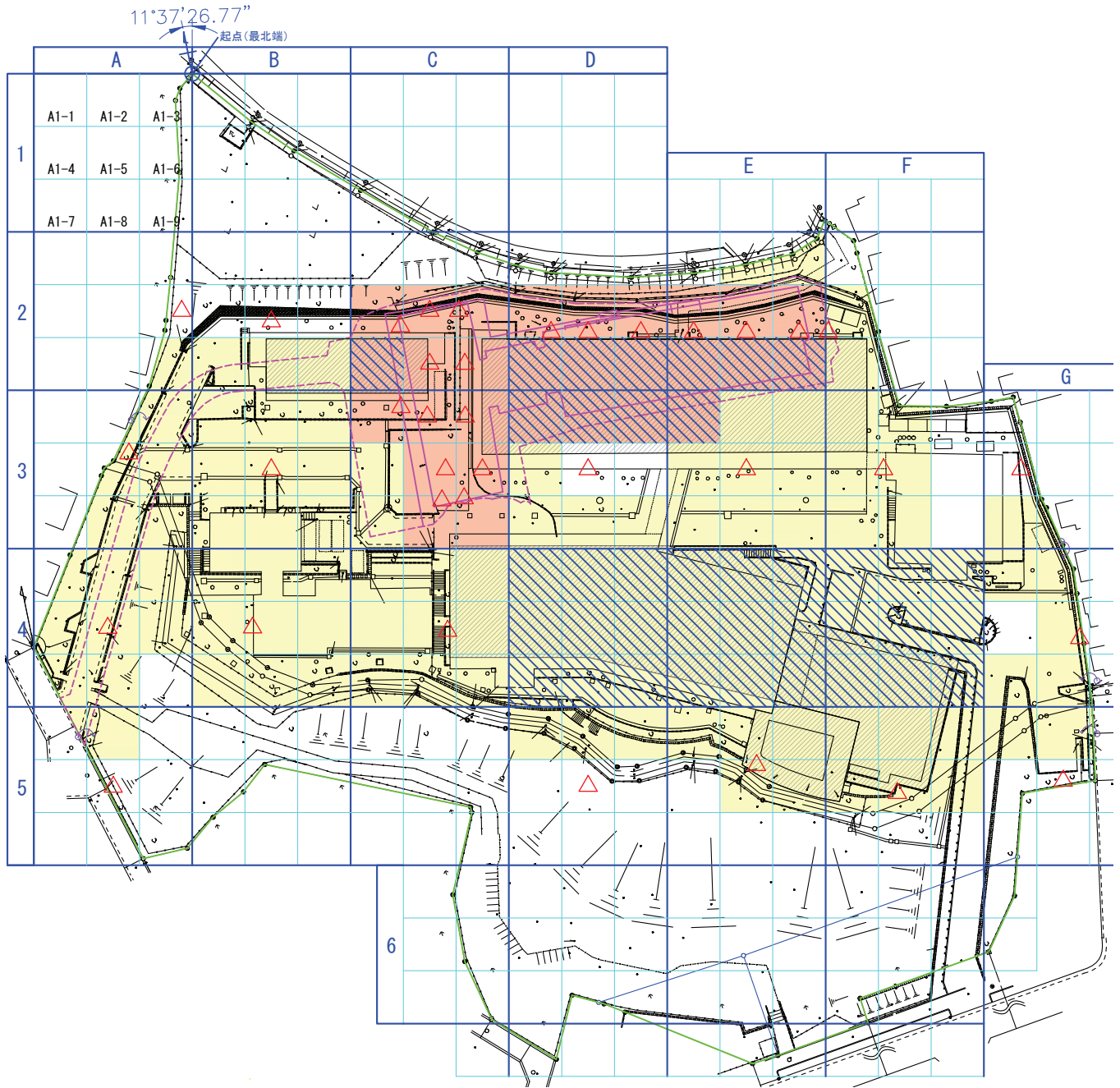
採取・分析凡例

- △ : 土壤ガス (採取36地点/分析36検体)
- : 表層土壤 (30m格子毎: 採取56地点/分析16検体※)
- : 表層土壤 (10m格子毎: 採取20地点/分析20検体※)
- : ●の内、本来は30m格子毎に調査を行う地点
※土壤分析 (第2種+PCB) 合計36検体
- : 表層土壤 (30m格子中の表層絞込調査地点4地点)
- : 土壤分析 (ふっ素溶出量) 9検体

採取不可地点 (次期調査案)

- ✕ : 採取14地点/分析14検体
- ✕ : 採取28地点/分析 7検体※
- ✕ : 採取11地点/分析11検体※
※土壤分析 (第2種+PCB) 合計18検体

試料採取地点図及び汚染のおそれの区分図



凡例

- : 調査対象範囲
- : 有害物質使用場所(旧)
- : 事業敷地範囲(旧)
- : 地下ピット部分

採取・分析凡例

- △ : 土壌ガス(採取36地点/分析36検体)

試料採取等区画凡例

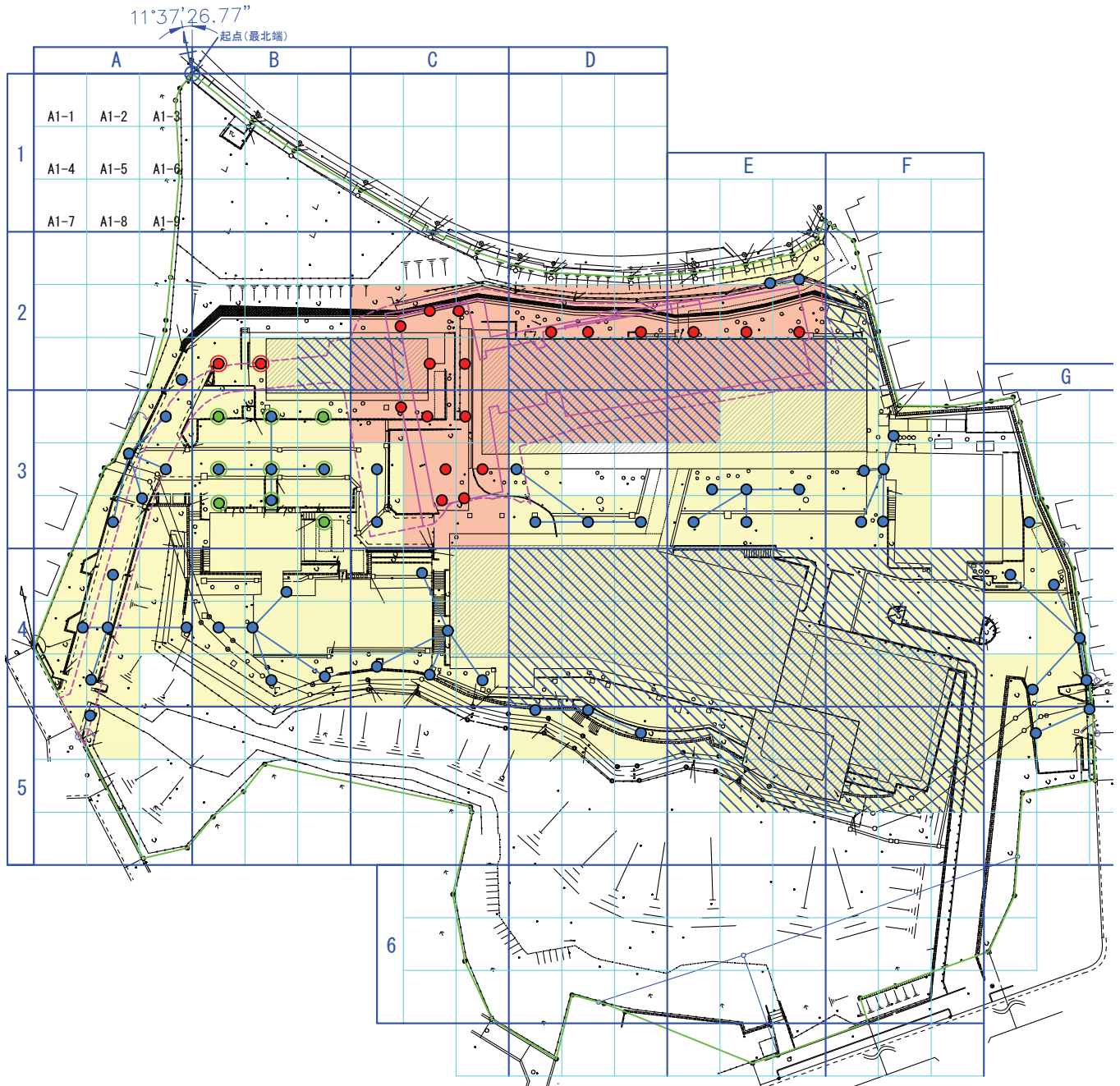
(第1種特定有害物質)

- : 全部対象区画(18区画)
- : 一部対象区画(91区画)
- : 対象外区画
- : 次期調査対象区画

区画凡例

- : 30m格子線
- : 10m格子線
- ↻ : 区画統合

今回調査範囲の土壌ガス試料採取地点図(第1種特定有害物質)



試料採取等区画凡例
(第2種特定有害物質、PCB)

凡例

- : 調査対象範囲
- : 有害物質使用場所(旧)
- : 事業敷地範囲(旧)
- : 地下ピット部分

- : 全部対象区画(18区画)
- : 一部対象区画(77区画)
- : 対象外区画
- : 次期調査対象区画

区画凡例

- : 30m格子線
- : 10m格子線
- ↻ : 区画統合

採取・分析凡例

- : 表層土壌(30m格子毎:採取56地点/分析16検体)
- : 表層土壌(10m格子毎:採取20地点/分析20検体)
※第2種+PCB:分析36検体 ○:追加調査地点
- : 表層土壌(30m格子中の未採取地点4地点)
- : ※ふっ素(溶出量):分析9検体

今回調査範囲の試料採取地点図(第2種特定有害物質、PCB)

調査結果一覧表 土壌ガス調査

※各試料採取区画について、調査対象物質ごとの調査結果をリスト選択または自由入力により記入してください。（単位：ガスppm、地下水mg/L）

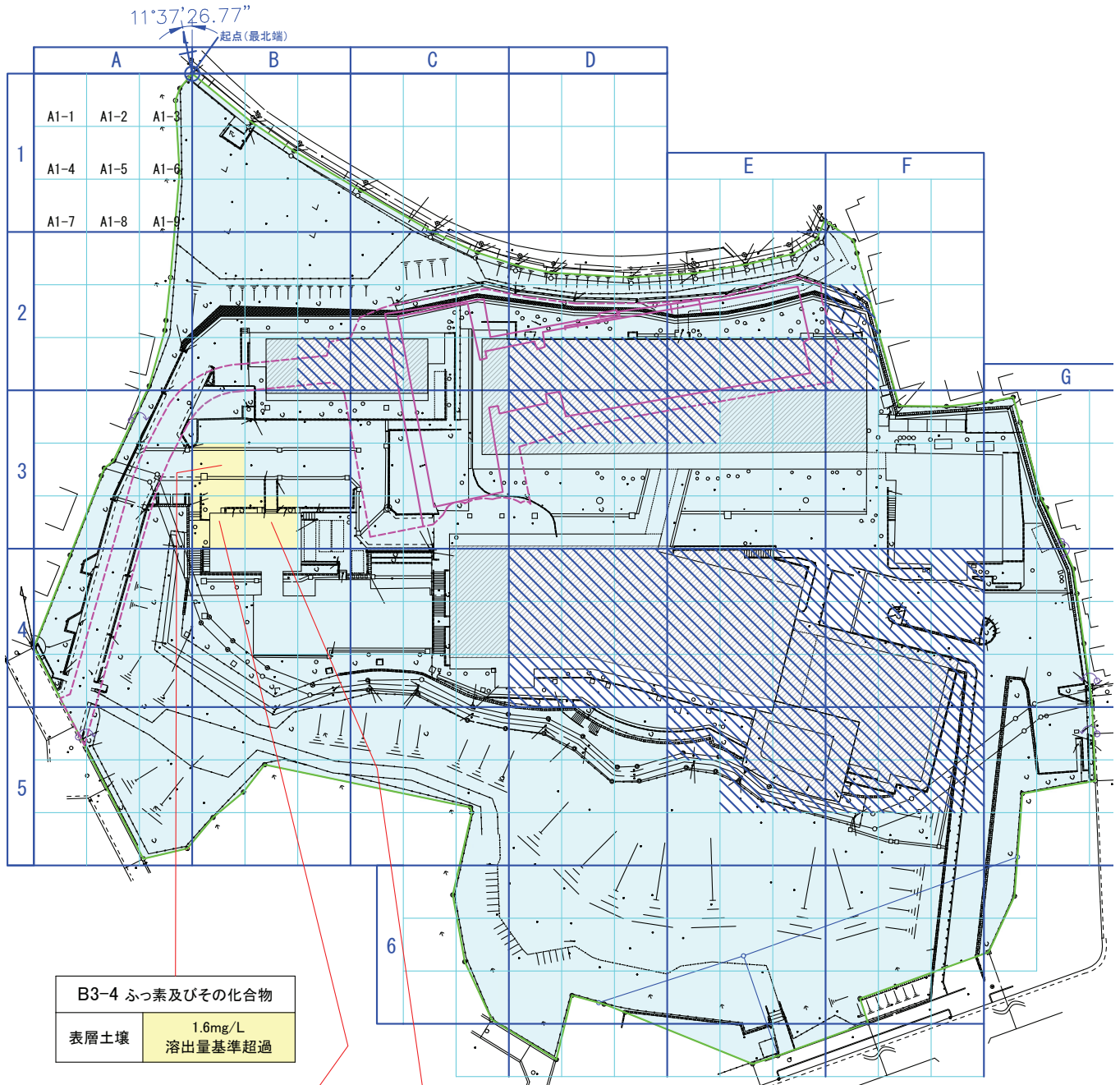
※記載行が足りない場合は50番目の行をコピーして行を追加してください。

調査対象物質		クロロエチレン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,3-ジクロロプロパン	ジクロロメタン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	ベンゼン
土壌ガス調査	調査区画数	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107
	最大濃度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	ガス検出区画数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	試料採取等の省略	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
地下水調査	調査区画数												
	最大濃度												
	基準超過区画数												
	試料採取等の省略												

連番	起点番号	試料採取区画	調査の種類	30m格子内の評価区画	調査対象物質	クロロエチレン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,3-ジクロロプロパン	ジクロロメタン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	ベンゼン	
						検出下限(土壌ガス)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
						種類\基準値(地下水)	0.002	0.002	0.004	0.1	0.04	0.002	0.02	0.01	1	0.006	0.01	0.01
1	1	A2-6	一部	9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
2	1	A3-5	一部	3, 5, 6, 8, 9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
3	1	A4-5	一部	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
4	1	A5-5	一部	2	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
5	1	B2-5	一部	7, 8, 9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
6	1	B3-5	一部	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
7	1	B4-5	一部	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
8	1	C2-4	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
9	1	C2-5	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
10	1	C2-6	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
11	1	C2-8	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
12	1	C2-9	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
13	1	C3-1	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
14	1	C3-2	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
15	1	C3-3	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
16	1	C3-5	全部(兼一部)	4, 7	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
17	1	C3-6	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
18	1	C3-8	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
19	1	C3-9	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
20	1	C4-5	一部	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
21	1	D2-4	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
22	1	D2-5	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
23	1	D2-6	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
24	1	D3-5	一部	4, 7, 8, 9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
25	1	D5-5	一部	1, 2, 3	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
26	1	E2-4	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
27	1	E2-5	全部(兼一部)	2, 3	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
28	1	E2-6	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
29	1	E3-5	一部	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
30	1	E5-5	一部	1, 2, 3, 5, 6	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
31	1	F2-4	一部	4, 7	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
32	1	F3-5	一部	1, 2, 4, 5, 7, 8	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
33	1	F5-5	一部	1, 2, 3, 4, 5, 6	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
34	1	G3-4	一部	7	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
35	1	G4-5	一部	1, 2, 5, 7, 8	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
36	1	G5-5	一部	1, 2	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

この行より上に行を追加してください。

(日本産業規格A列4番)



B3-7 ふっ素及びその化合物	
表層土壌	1.6mg/L 溶出量基準超過

B3-8 ふっ素及びその化合物	
表層土壌	2.5mg/L 溶出量基準超過

土壤汚染状況調査の評価

	: 基準超過区画
	: 基準適合区画 (調査終了)
	: 次期調査で評価する単位区画 (一部土壤ガス調査終了区画あり)

凡例

	: 調査対象範囲
	: 有害物質使用場所(旧)
	: 事業敷地範囲(旧)
	: 地下ピット部分

区画凡例

	: 30m格子線
	: 10m格子線
	: 区画統合

汚染状態総括図